

SKK 議事メモ

3. 各種情報提供など

・借上社宅標準契約書の進捗状況

スタートの1月から4月の契約ベースで利用率は15%程度。

他の代行会社の状況、10%以上となっているのが長谷工様とマイム様。他は概ね6%程度。

利用出来た際は業務効率化が図れたという実感を持ったという声が上がっている様子。

また、大手管理会社では、スタートアメニティ、東建コーポレーションに続き、野村不動産パートナーズ、生和不動産保証（生和コーポレーション）が利用可能となった。

・賃貸業界における電子契約普及状況

大東建託リーシング社とリロケーションジャパン社におけるこの繁忙期の電子契約での対応報告。

大東建託リーシング社としては、手続きに手間がかかったとのことだが、リロケーションジャパン社は、楽になったとの話を聞いている。

引き続き状況は共有いただき、タイミングをみながら改めて皆様に共有する。

4. 各社のテレワーク対応

【まとめ】

テレワーク状況については各社まちまちで、全日出社から、週半分のリモートなど

管理システムのリモートアクセスや、社内申請のワークフロー導入、電子印等、構築をしている会社が多い

ただし、郵送物、契約書面への押印等を理由に、完全テレワークを実施できている会社はなし

契約書面のリーガルチェックの効率化や既存契約のPDF化が課題

次回は、8月予定。

以上。